

## 言語文化研究科

### 【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、言語文化研究科は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。

言語文化専攻は、総合的・超域的な言語文化研究を重視するため、人文学だけでなく、社会科学や自然科学の分野の学生、また留学生や社会人に広く門戸を開いています。博士前期課程の筆記試験では、カリキュラム・ポリシーに掲げた各履修分野に関する論述問題、履修分野共通の問題、外国語などの問題を課します。博士後期課程入学試験では、修士論文等の応募論文も審査の対象となります。

言語社会専攻では、特定地域の言語の専門的知識を身につけ、その言語ないし言語圏に関する言語学、文学、歴史学、社会学、政治学等の先端的な研究を実践し得る人材を適正に選抜するための入学試験を行います。英語教員リカレントコースと中国語教員リカレントコースでは、各言語の優れた専門的知識及び各言語圏の文化と社会に関する高度な教養を身につけようと望む現役の教員を求めています。

日本語・日本文化専攻は、一般、社会人、留学生の3つのカテゴリで入学試験を行います。また、広く世界から優秀な人材を求めるため、入学時期と試験方法の異なる2つのコースを設けています。

- ・日本語・日本文化実践コース（一般、社会人、留学生）4月入学
- ・日本語・日本文化専修コース（留学生のみ）4月及び10月入学（博士後期課程は10月のみ）